

こころみ

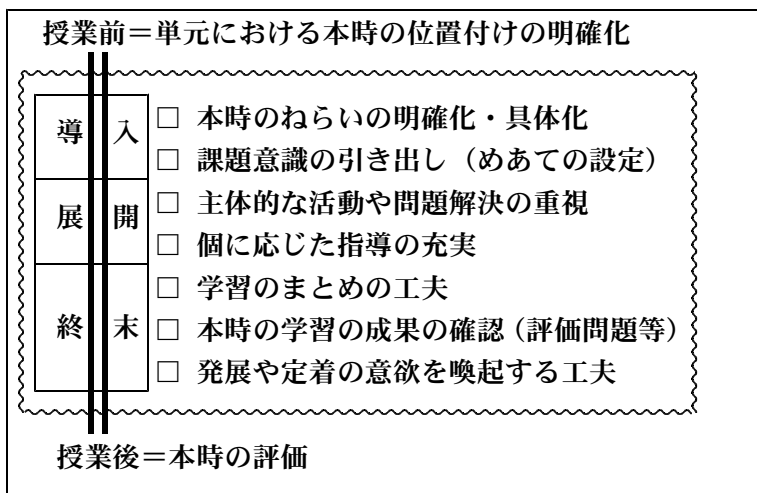
2006. 7. 3

担当:校長会



二基礎・基本を身に付ける授業過程二 ～本時のねらいを明確にした、具体的な学習課題（めあて）を考える～

☆基礎・基本を身に付ける授業過程として、県教委は次の授業過程を示しています。



- ①単元において今日はどんな位置付けなのかを頭に入れます。
- ②今日のねらいは何なのかをわかりやすく児童・生徒に示します。
- ③どんな問題（まとめ）で、今日の振り返りを行い、定着度を確認するかを決めます。
- ④そのためにはどんな展開がいいか、教える部分はどこで、活動させる部分はどこかを決めます。
- ⑤時間配分をそれに合わせて決め、終末の時間が足りなくならないように意識します。

☆次に、どのような学習課題（めあて）がいいのかを考えてみます。⇒基本は各教科の評価の観点のどれかをねらったものになります。（中学校の国語であれば、関心・意欲・態度、話す・聞く力、書く能力、読む能力、言語についての知識・理解・技能）

☆優れた学習課題（めあて）として次の4点を日常的に考えて設定しましょう。

1. その授業における学習の本質を突いたものであること。
2. 具体的な問いかけであり、ゴールまで見通せること。
3. 学習意欲を刺激する魅力的なものであること。
4. 子どもの実態に応じたレベルと表現であること。



☆それでは、具体的な学習課題（めあて）をもとに考えてみましょう。

＜例1＞ 学習課題「生きている動物の血管の中の様子を観察しよう」

- ・課題が「何のために観察するのか」が明確になっていません。観察後に、血管の分布、血液の成分について理解させるというねらいがあるわけですから、はじめから、観察の視点を示した学習課題にするのがよいです。

【望ましい学習課題】

「メダカの尾びれの血管はどのように分布し、血液はどのように流れているのだろう。」

<例2> 学習課題「根の作りを観察し、植物の特徴を見つけよう」

- ・課題が「何のために観察するのか」が明確になっていません。「植物の特徴」とは何かが焦点化されていません。ねらいは、葉脈の特徴と根の作りの関連性を見つけさせることにあります。

【望ましい学習課題】

「植物の葉の特徴のように、根にも植物の種類により違いや共通点はあるだろうか。」

<例3>めあて「家族や友だちを紹介しよう」

- ・めあてが「どんな基本文を使って、どこまで紹介するのか」が明確になっていません。「he」と“she”を用いること、名前・職業・出身を入れて3文で紹介させるというねらいがあるとします。

【望ましいめあて】

「“he”や“she”を用いて、3文で家族や友だちを紹介しよう。」

☆これらを参考にして、1時間のねらいを明確にした具体的な学習課題（めあて）の設定をしてください。そして、児童・生徒がそれ見て、この1時間何をするのかがはっきりとわかり、終末の評価問題等で成果が確認できる時間配分を意識した授業展開を行い、力をつけてやりましょう。

※考察「学習のねらい」「学習課題」「学習のめあて」の違いについて

| 一般的なとらえ方と表現の例 | |
|---------------|--|
| 学習の ねらい | 学習指導要領の各教科等の目標及び内容に基づき、児童・生徒や学校の実態に応じて設定した、単元あるいは各時間ごとの教師の指導目標 |
| 学習課題 | 解決されるもの。「なぜ、・・・だろう?」「どうしたら・・・だろう?」「～とはなんだろう?」「○○は、～だろうか?」という問いの形で表現されるもの。 (例) 平行四辺形の辺の長さや角の大きさにはどんな秘密があるのだろうか。 (例) 日本で魚が多く捕れるはなぜだろうか。 |
| 学習の めあて | 子ども側にたった下位行動目標である。この1時間で何ができるようになればいいのか、何が分かればいいのかははっきり分かる表現のもの。 「～して、～しよう。」「～して、～ができるようになろう。」 (例) おはなしをかんがえて、じぶんたちだけのかみしばいをつくろう。 (例) 「たぬきのうんどうかい」に出てくるかん字をつかって、なかまづくりをしよう。 <見直しをした方がいい表現> △大きな水のかさをはかる方法をみつけよう。 △3けたの数をわる筆算の方法を考えよう。 ・考えるだけでいいのか、ということになります。考えたかどうかの評価はどうするのか。考えて何ができるようになればいいのかが見えていません。とすれば、めあてには「考えよう」は避けたいものです。「まとめよう」「調べよう」も同じです。まとめて・調べて、何ができるようになるのかということまで考えていきたいものです。 |

* 「学習課題」は、算数・数学、社会、理科などで設定しやすいと思います。「めあて」は、国語、体育、音楽、美術、技・家、英語などで設定しやすいと思います。したがって、その言い回し（文言）等について、全校で統一ということは教科の特性上難しいと考えます。